

若林さん(磐崎)最優秀 大和田さん兄弟(郷ヶ丘)民報社賞

全国選抜小学生プログラミング大会の県大会は16日、南相馬市の福島ロボットテストフィールドで開かれた。若林玲子さん(いわき市・磐崎小3年)が最優秀賞に選ばれ、全国大会出場を決めた。福島民報社賞には大和田哲秀さん(いわき市・郷ヶ丘小6年)、倫太郎さん(同5年)兄弟の「OWADA BROTHERS」が選ばれた。

県大会は福島民報社などで行う実行委員会の主催で4回目。全国新聞社事業協議会の共催、県情報産業協会の協賛。1次審査を通過した6個人・団体が最終審査に臨んだ。

テーマは「みんなの暮らし」。動画投稿サイトを見て独学でプログラミングを習得した若林さんは、昨年は審査員特別賞に選ばれ、挑戦2回目で最優秀賞に輝いた。ウミガメが海の中でごみや漏れた石油を避けな

がら、母親に会いにくげームを作った。「美しい海が未来も続いてほしい」との思いを込め、「ごみ拾いのステージ」を増やし、全国大会では優勝を目指したい」と抱負を述べた。

会津大の吉岡廉太郎教授が審査員長を務めた。発想、表現、技術の各能力合わせて100点満点で採点した。

開会式では主催者を代表し福島民報社の関根英樹取締役事業局長があいさ



吉岡教授から最優秀賞を受ける若林さん(右)



関根局長から福島民報社賞を受ける大和田哲秀さん(中央)、倫太郎さん兄弟

つした。表彰式で吉岡教授が若林さんに、関根局長が大和田さん兄弟に表彰状などを贈った。福島高専情報処理教育センターの島村浩さん、東日本計算センターの鷲弘樹社長が講評し

た。

最優秀賞、福島民報社賞以外の成績は次の通り。

- ▽県情報産業協会賞||かみプロ
- △秋山慶太、高橋聖人、佐藤風紗(喜多方市・上三宮小6年)▽アイデア賞||安藤慧(いわき市・勿来一小6年)▽審査員特別賞||timus Mk2(森岡連、神山大葵(郡山市・安積二小6年)▽福島民友新聞社賞||小椋正晴(猪苗代町・吾妻小6年)